NEWS INDEX

保険毎日新聞

日　刊（但土曜 日曜 祝日休刊）
定価1カ月4,115円（送料＋税込み）

発行所
保険毎日新聞社
東京都千代田区岩本町1丁目4番7号
〒101-0032
電　話　03（3865）1401（代表）
振　替　00140－6－70860
© 保険毎日新聞社

インシュアランスサービス
日本アイラック

経営統合し共同持株会社設立

「RMJホールディングス」発足

垣根越えた連携で付加価値提供

大型代理店のインシュアランスサービス（兵庫県芦屋市、清水丈嗣社長）と危機管理サービスを提供する日本アイラック（東京都新宿区、国原秀則社長）は5月に経営統合し、共同持株会社RMJホールディングスを設立する。両社がRMJの傘下に入り、リスクマネジメントサービスをパッケージ化した保険商品の開発・販売などで差別化を図る。保険に関連した異業種企業同士の垣根を超えた連携に注目が集まりそうだ。

清水社長（左）と国原社長

経営統合した両社は、それぞれのノウハウを相互活用することで互いの事業の付加価値向上を図り、実績拡大を目指す。今後、両社のリスクマネジメントサービスをパッケージ化した中小・中堅企業向け商品の開発・販売を保険会社に提案していく考えで、既に危機対応支援サービス付帯商品を数社に打診して好感触を得ているという。また、関西を本拠地として首都圏や中部圏にも支店を持つインシュアランスサービスと、首都圏を地盤とする日本アイラックが互いの営業基盤やマーケットを補完する他、コスト削減やスケールメリットを生かした組織の分業化などでシナジー効果を高めていく。

インシュアランスサービスは「保険会社の代理人でなく、お客さまの代理人」を経営理念に1975年に創業。リスクマネジメントや損害サービスでの独自ノウハウを強みにしながら関西圏を中心に営業展開し、現在、生損保約40社の取り扱い保険料は約45億円に上る。保険業法の改正や多様なチャネルの参入による競争激化などで顧客サービスの一層の差別化が中長期的な経営課題と認識していた。

一方、日本アイラックは96年に危機管理サービスで営業開始。危機対応についての高度な知識や豊富な経験、ネットワークなどをベースに、旅行代理店・大学などに提供する「海外緊急重大事故支援サービス」、企業のクレーム対応を引き受ける「お客さま相談室サポートサービス」、保険会社の保険金支払い業務を支援する「事故処理アウトソーシング」などで顧客企業から高い評価を受けている。

両社は昨年から経営統合に向けた協議を始め、年末には基本的合意に達した。3月にそれぞれの取締役会で株式移転計画の承認を受けており、4月の臨時株主総会で最終的に決定する。5月に発足するRMJホールディングスは清水氏が社長、国原氏が会長になる予定で、資本金9800万円、純資産は2億円を超え、グループ全体で150人体制となる。

5年後の売り上げ目標として30億円、経常利益3億円を掲げており、達成後に株式上場を目指す。清水社長は「今回の経営統合により、グループとしての盤石な営業体制、業容の安定的発展が図れると考えているが、それ以上に中小・中堅企業を中心としたお客さまに保険を超えた幅広いリスクマネジメントサービスが提供できると考えており、社会貢献としての意味合いが強い」と意義を強調する。また、国原社長は「これまでにないビジネスの可能性が大きく開かれており、今からとても期待している」として、新会社の発展に意欲を示している。